

夏と冬の奏鳴曲 レジューメ

1. 資料——*data*

場所……和音島。隠岐と輪島を結ぶライン上。舞鶴港が最も近い港？

時……バブル崩壊後（p 23）1990年（『痲』より）

登場人物……如月烏有 創華社準社員

舞奈桐璃 オニワバンダナ女子高校三年 「うゆーさん」

舞奈桐璃（白） 白いワンピースで登場「うゆうさん」

真宮和音 女優。二十年前の8月10日に十八歳で死去

村沢孝久 貿易会社経営

村沢尚美 孝久の妻。武藤の妹

結城孟 呉服屋次男

小柳 神父

水鏡三摩池 富豪。車いす

武藤紀之 8月12日和音の後を追って死去

真鍋夫妻 使用人。元病院長、元ヴィニツァのシェフ？

2. 悲劇——*tragedy*

・エアコン(p 211、219)

・パルツィファル (p 422)

・主電源が落ちた時結城はすでに死んでいたという烏有の推理 (p 575)

3. 黙示録——*apocalypse*

・黙示録…キリストの再臨を預言。

・奏鳴曲…四つの楽章からなる。

・黄色い瞳の少女 (p 11、583)

・黒猫 (p 34、277、535、587、682)

・トリカブトの花言葉…復讐、騎士道 (p 542)

4. 舞奈桐璃——*parousia*

・両親は健在 (p 89、378)

・母親の遺品 (p 74)

→養女？

・病院長（真鍋）の幼児売買 (p 315)

・二人の桐璃…「うゆーさん」と「うゆうさん」(p 93初出)

・ジキル博士とハイド氏 (p 466)

- ・和音としての形相…鳥有によるアイデンティファイ
- ・不完全な桐璃から完全な桐璃の復活（再臨）

5. 真宮和音——*idea*

- ・小柳「神」（p 116）
 - ・結城「和音のような女は初めて、すごい以外わからない、超越している」（p 129）
 - ・結城「俺は伝説より生きててほしかったけどな」（p 140）
 - ・偶像崇拜の忌避（p 172）→モデルはいない？
 - ・「神」の象徴として措定された（p 356）
 - ・対象を認識する過程＝展開（p 363）
 - ・展開こそが「神」（p 509）
 - ・島では和音を人間として具体化させる展開を行っていた（p 511）
 - ・キュビズム的還元は対象の絶対化を目指したが、必然的に生じる空虚な空間が相対化させてしまう。そこで核（本質）を実体化させる総合的キュビズムへ（p 434）
- 和音は実在しないため不可能だった？
- ・総合的キュビズムにおける異物の混入を奇蹟によって果たす（p 544）
 - ・映画で和音を演じていたのは村沢尚美（p 616）
 - ・和音の聖域（サンクチュアリ）は虚空（p 646）
 - ・メンバーのアイデンティファイによって作られた神（四つの画）（p 672）

6. 大破局——*catastrophe*

- ・編集長「和音」（p 708）
- ・島のメンバー？→真宮和音の作成には関与。島にいたかは不明。
- ・編集長＝真宮和音？→明確なモデルではない。少なくとも外見は違う。
- ・桐璃は編集長の娘？→外見は違うので可能性は低い。
- ・では編集長は育ての親？→何らかの形で「教育」は行った。ただ葬式の描写と年齢が合わない。
- ・すべては武藤がシナリオを描き、編集長が仕組んだもの。目的は真宮和音の「再臨」

7. 残された謎——*enigma*

- ・真鍋夫妻の正体 元病院長？元ヴィニツアのシェフ？
- ・ロシアの影（武藤の顔立ち、ロシア料理、赤い絨毯）→前作との関連？
- ・桐璃の言った「特別な日」とは？（p 106）→黙示録始動の日？
- ・あの時のあの少女？（p 114）
- ・鈴の意味→猫の暗示？
- ・村沢の「一人欠けている」とはだれ？（p 137）

- ・和音の生活用の部屋は何のため？
- ・烏有の真鍋道代への怯えは何か？（p 66）
- ・ etc

8.補遺——*epilogue*

- ・形式への探求？（佳多山大地）
- ・不確定性原理への解答？

——閉幕（カーテンコール）

参考文献・資料

佳多山大地「麻耶雄嵩論」笠井潔編『本格ミステリの現在』所収。

「夏と冬の奏鳴曲 ネタバレ感想 黄金の羊毛亭」

<http://www5a.biglobe.ne.jp/~sakatam/book/sonata.html#5>

「麻耶雄嵩『夏と冬の奏鳴曲』早見表 the long fish」

http://longfish.cute.coocan.jp/pages/2010/100904_sonaten/